

令和4年11月18日
東日本高速道路株式会社

令和4年度 技術研究助成の公募について

NEXCO東日本(東京都千代田区)は、高速道路空間をいつでも安全・安心・快適・便利にご利用いただけるよう、さまざまな技術開発を進めています。

この度、高速道路の安全性またはサービスレベルの向上に活用・応用などが期待できる技術的な研究を広範囲の分野から公募し、助成することとしましたのでお知らせします。

1. 対象となる研究

以下のテーマのいずれかを選択してください。

【共通テーマ】

高速道路の安全性またはサービスレベルの向上に資する研究

【特定テーマ】

高速道路におけるDX・GXの推進に資する研究

2. 対象者

大学、高等専門学校などに所属する研究者

3. 公募期間

令和4年(2022年)11月18日(金)から令和5年(2023年)1月13日(金)

※助成対象の決定通知は、令和5年(2023年)2月末頃の予定です。

4. 助成対象期間

決定の翌日から令和6年(2024年)2月29日(木)

5. 助成金額

1件につき、300万円以内

6. 公募に関するお問い合わせ

NEXCO東日本 総合技術センター 技術研究助成事務局 Tel. 048-749-0600

詳しい内容については、「NEXCO東日本 技術研究助成 実施要綱」(別添)をご覧ください。申請書などの様式【Word(zip)形式:52KB】は、こちら(https://e-nexco.co.jp/pressroom/cms_assets/pressroom/2022/11/18/01a.zip)からダウンロードできますので、併せてご覧ください。

<参考> 過去の助成研究一覧(平成 25 年度～令和 2 年度)

【 平成 25 年度 】

助成研究名	助成対象先
高速道路の重大事故を予防するための自律神経機能定量診断装置を兼備した統合医療フィードバックデバイス	東北大学 加齢医学研究所
高齢者用安全運転支援システムにおける超音波骨伝導スピーカの開発	山形大学 大学院 理工学研究科
コンクリート構造物の点検・診断のための空気超音波法の開発	東京工業大学 大学院 情報理工学研究科
実環境下におけるステンレス鋼と炭素鋼の異種金属接触腐食性状	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科
真空圧密併用盛土工法による軟弱地盤の改良効果推定のためのシミュレーション実験および構成モデルによる検証	秋田大学 大学院 工学資源学研究科
生体脈波を利用した高速道路の走行安全性評価システムの開発	茨城大学 工学部 都市システム工学科
凍結融解作用と凍結防止剤の影響を同時に受けるコンクリート構造物を対象とした鉄筋腐食環境モニタリングシステムの構築	八戸工業大学 大学院 工学研究科
弾性波測定を利用したプレストレスト構造物の残存性能評価に関する研究	木更津工業高等専門学校 環境都市工学科

【 平成 26 年度 】

助成研究名	助成対象先
織り込み区間における車両錯綜回避アルゴリズムの開発	横浜国立大学 大学院 都市イノベーション研究院
鋼橋の耐火性能解析による安全性の検証および新しい設計指針の提案	東京大学 大学院 工学系研究科
自然に学ぶコンクリート構造物の新しい修復・保全技術の開発	北海道大学 大学院 工学研究院
生体脈波を利用した高速道路の走行安全性評価システムの検証	茨城大学 工学部 都市システム工学科
横ボーリング孔からの湧出水に着目した谷部を横断する山岳部道路盛土の健全性評価手法の開発	東北大学 大学院 工学研究科
リング拘束試験による火災時のセメント系材料の爆裂評価手法の提案	群馬大学 大学院 理工学府

【 平成 27 年度 】

助成研究名	助成対象先
鋼構造塗装の新しい健全度評価手法の開発	岩手大学 工学部 社会環境工学科
高速道路盛土における土石流対策(閉塞軽減工)に関する基礎的研究	京都大学 大学院 農学研究科
高齢者・認知症ドライバーにおける認知機能バランスにおける研究	青森大学 薬学部
コンクリート構造物内塩化物濃度の非破壊推定法の研究	岩手大学 電気電子・情報 システム工学科
最少負荷での塩化物イオン浸透状況面的評価方法の開発	木更津工業高等専門学校 環境都市工学科
積雪と植生を考慮した寒冷地土構造物の広域災害リスク評価手法の開発	北海道大学 大学院 工学研究院
認知機能のリアルタイム補完に基づく高齢者のための危険運転予測	秋田県立大学 システム科学技術学科
利用者の休憩効果を向上させるサービスエリア緑化空間の利用計画およびプログラムの提案	千葉大学 大学院 園芸研究科

【 平成 28 年度 】

助成研究名	助成対象先
高速道路における高齢ドライバーによる準自動運転車利用時の運転行動に関する研究	北海道大学 大学院 工学研究院
既設盛土構造物を対象とした原位置生態系の活用による機能更新・維持管理手法	富山県立大学 工学部
高齢者ドライバーの平衡感覚を改善するサイバネティックトレーニングシステムの開発	愛知医科大学 医学部
階層構造超撥水表面を基盤とする着雪防止表面の開発	北海道大学 大学院 工学研究院
高速道路上の強風予測・対策のための数値流体解析に基づく Windbreak aerodynamics の構築	新潟工科大学 工学部

【平成29年度】

助成研究名	助成対象先
降雨による地盤流動化と崩壊の数値解析技術の開発	東北大学 災害科学国際研究所
ドライバーの危険度認知性に優れた風情報提示用吹き流しの研究	富山県立大学 機械システム工学科
触覚バイオフィードバックに基づく追突防止補助システムの開発	埼玉大学 大学院 数理電子情報部門
MEMS傾斜計の多点観測と弾塑性FEM解析に基づく直立不安定岩盤の立体的監視手法の開発	群馬大学 大学院理工学府 環境創生部門
電気化学的手法とAE法を併用した鉄筋コンクリート(RC)インフラ構造物の2段階腐食スクリーニング技術の開発	立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科
安全で快適な高速走行環境の構築に向けた新たな緑地管理手法の開発 —大学・企業・住民で考える未来志向型の高速道路緑地管理手法—	茨城大学 理学部 理学科

【平成30年度】

助成研究名	助成対象先
高速道路の間伐材等を原料としたメソ孔活性炭に関する研究	弘前大学 教育学部
気候変動に伴う集中豪雨に適応した水産系副産物(貝殻)を活用した傾斜キャピラリーバリア型盛土の開発	茨城大学 大学院 理工学研究科
高速道路上における吹雪ポテンシャル予測技術の開発	北海道大学 大学院 理学研究院
三次元微細構造離散解析によるRC内部鉄筋腐食分布の逆推定	東京大学 生産技術研究所
盛土の長期沈下に及ぼす繰り返し荷重に伴う地盤沈下特性	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻
粒子速度センサーを用いたコンクリート部材の損傷把握に関する研究	前橋工科大学 社会環境工学科

【 令和元年度 】

助成研究名	助成対象先
溶接構造物の健全性簡易モニタリングシステム	秋田県立大学 システム科学技術学部
橋梁撮影画像へのメタデータ自動付与技術の開発と検索システムの構築	東京大学 大学院 工学系 研究科総合研究機構
熱可塑性 CFRP 材料の鉄筋代替利用に関する研究	東京工業大学 環境・社会理工学院
赤外線画像を用いた FRP 材補強部の健全度診断の高精度化研究	東北大学 大学院 工学研究科
土砂災害危険度評価から地盤変状調査手法の確立までを目指す機械学習活用の挑戦	北海道大学 大学院 工学研究院
強度階層を考慮した鋼桁および端部の構造設計に関する研究	熊本大学 くまもと水循環・ 減災研修教育センター
多糖や過冷却促進物質を活用した自然に優しい凍結防止剤の開発検討	関西大学 環境都市工学部

【 令和 2 年度 】

助成研究名	助成対象先
コンクリート表面塩分の非破壊濃度測定の信頼性向上に関する研究	日本大学 工学部 土木工学科
自動運転システムの安全性向上に向けた路面摩擦推定システム構築の可能性に関する研究	日本大学 生産工学部 自 動車工学リサーチセンター
降雨に伴う大規模斜面崩壊の予測に資する堆積岩の不飽和強度特性の検討	埼玉大学 大学院 理工学研究科
土の保水性に着目した盛土のモニタリング手法の構築	横浜国立大学 都市イノベーション研究院
施工から健全度評価に至るまでのIoTを活用した補強土壁における品質管理システムの高度化	北見工業大学 工学部 社会環境系
降雪時の交通行動分析と行動変容方策の検討	長岡技術科学大学大学院・ 工学系研究科

令和4年度
NEXCO 東日本 技術研究助成

実施要綱

公募期間 令和4年11月18日(金)～令和5年1月13日(金)
助成対象期間 決定の翌日～令和6年2月29日(木)

令和4年11月
NEXCO 東日本

【技術研究助成申請書の提出、お問い合わせ先】

東日本高速道路株式会社

技術本部 総合技術センター 技術企画課内「技術研究助成事務局」

〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉260 NEXCO東日本総合技術センター2F

TEL 048-749-0600 FAX 048-757-0057

※案内、実施要綱のダウンロードはこちらから

<https://www.e-nexco.co.jp>

目 次

I NEXCO 東日本 技術研究助成制度について

1. 目的
2. 助成の対象
3. 助成の対象者
4. 助成の額
5. 申込み件数
6. 公募・審査・通知の流れ
7. 技術研究助成の義務
8. 助成金の使途・管理
9. 権利等の帰属
10. 決定の取り消し等
11. 事故等の届け出

II 令和4年度 NEXCO 東日本 技術研究助成の募集について

1. 実施スケジュール
2. 申請手続き
3. 申請書に記載された個人情報の利用目的について
4. 助成金交付手続き

III 様式

1. 申請手続きに用いる様式
 - 様式-1① 技術研究助成申請書
 - 様式-1② 助成研究者経歴
 - 様式-1③ 共同研究者経歴
 - 様式-1④ 研究計画書(その1)
 - 様式-1⑤ 研究計画書(その2)
 - 様式-1⑥ 研究費用予定内訳書
2. 助成金交付手続きに用いる様式
 - 様式-2① 請書
 - 様式-2② 助成金振込先通知書
 - 様式-2③ 助成研究の予定工程表
3. 成果報告に用いる様式
 - 様式-3① 技術研究助成成果報告
 - 様式-3② 成果報告書の要約
 - 様式-4 助成金に関する決算報告書

I NEXCO 東日本 技術研究助成制度について

1. 目的

当社は、高速道路空間をいつでも安全・安心・快適・便利にご利用いただけるように、様々な技術開発を進めております。

この技術研究助成制度は、高速道路の安全性またはサービスレベルの向上に活用・応用などが期待できる技術的な研究を広範囲な分野から公募し、助成させていただくものです。

2. 助成の対象

下記のいずれかに関する研究を対象として公募します。

- ・高速道路の安全性またはサービスレベルの向上に資する研究
- ・高速道路における DX・GX の推進に資する研究

3. 助成の対象者

助成対象とする研究代表者及び共同研究者は、助成対象期間において、大学、高等専門学校などに所属する研究者とします。ただし、学生または過去に本助成に採択された研究は対象から除外します。

4. 助成の額

助成額は1件につき、300万円以内とします。

5. 申込み件数

1人（共同研究の場合は1研究グループ）あたり1件とします。

6. 公募・審査・通知の流れ

- (1) 技術研究助成は公募で実施します。応募の方法等については、「II 令和4年度 NEXCO 東日本 技術研究助成の募集について」を参照下さい。
- (2) NEXCO 東日本は受理した申請書を社内に設置する「技術研究助成審査会」において審査します。なお、必要に応じて調査を実施します。
- (3) 技術研究助成の採・否及び助成額は当社で決定のうえ、結果を問わず、事務局から申請した研究者に通知します。なお、NEXCO 東日本は助成の決定にあたり必要な条件（ヒアリング等）を付すことができるものとします。

7. 技術研究助成の義務

- (1) 技術研究助成を受けた研究者（以下「助成研究者」という。）は、研究期間満了後1ヶ月以内に、活動の成果として最終報告及び会計報告として以下の書類を提出していただきます。
 - 1) 技術研究助成成果（様式-3①②）
 - 2) 助成金に関する決算報告書（様式-4）なお、成果報告書は日本語で作成して下さい。
- (2) 最終報告を提出後、NEXCO 東日本において開催する「成果報告会」に出席のうえ、研究の成果について報告していただきます。
- (3) 助成決定から概ね半年後を目途に、NEXCO 東日本において開催する「中間報告会」に出席のうえ、研究の状況について報告していただきます。
- (4) NEXCO 東日本は助成期間中、必要により報告（支出状況を含む）を求めることがあります。

- (5) 助成研究者が、助成期間終了後または期間中に成果を公表する場合は、NEXCO 東日本の助成を受けた旨を明記するとともに、発表先の情報と論文等（PDF データ）を NEXCO 東日本まで提出して下さい。

8. 助成金の使途・管理

- (1) 助成金の使途は当該研究に直接必要な経費に限ります。その内訳は、人件費（研究者本人、長期雇用人に係るものは除く）、資料費、調査費、旅費交通費（海外渡航費用および「7. 技術研究助成の義務」における報告のための旅費は除く）、消耗品費、通信費、印刷製本費、謝金、借料・損料、論文投稿料等とします。備品購入は助成の対象といたしません。詳細は別添資料を参考して下さい。なお、判断のつかないものに関しては、事前に NEXCO 東日本に問い合わせして下さい。
- (2) 助成金の受入及び支出の管理は、法人等組織の助成金振込口座で行い、決算報告書（様式一4）の支出証明は、法人等組織の助成金振込口座を取り扱う会計責任者等が行って下さい。また、助成金の支出根拠となる学内の支出関係書類、領収書（コピー可）、銀行振込書、納品書等の提出を求める場合があるので、これらの関係書類については適切に保管して下さい。

9. 権利等の帰属

- (1) 技術研究助成で得られた成果は、特に定めない限り助成研究者に帰属します。ただしNEXCO東日本は、公益の目的その他のために当該研究成果を公表できるものとします。
- (2) 技術研究助成で得られた成果により生じる特許権等にかかる第三者に対する責任は助成研究者に帰属するものとします。
- (3) 技術研究助成で得られた成果に関する特許権等の出願に関しては、NEXCO東日本は一切関与しません。
- (4) 技術研究助成で得られた成果により生じた事故等に関する責任をNEXCO東日本は一切負いません。

10. 決定の取り消し等

- (1) 技術研究助成対象の研究開発について、下記の事項が発生したときは、助成の決定の全部もしくは一部を取り消し、またはその決定内容もしくはこれに付した条件を変更します。
- ①助成金の他用途への使用
 - ②助成の決定の内容又はこれに付した条件違反
 - ③決定後の事情の変更により、助成研究者が研究を行うことが困難となったとき
- (2) 助成の決定を取り消した場合には、研究の当該取り消しに係る部分に関し交付した助成金について、期限を定めてその全部または一部を返還していただきます。

11. 事故等の届け出

下記の各項目に該当する場合は、遅滞なくNEXCO東日本に届け出て下さい。NEXCO東日本で対応を検討し、その後の処置を助成研究者と協議します。

- ①助成対象の研究開発が予定の期間内に完了しないことが明らかになったとき
- ②助成対象の研究開発の遂行に重大な支障を及ぼすと認められる事故が発生したとき

技術研究助成費目一覧表

費目	内容	備考
人件費	資料整理、実験、測定、実態調査、集計作業等の研究補助作業者に対する人件費	研究者本人、長期雇用に係るものは除く
資料費	研究に必要な図書、文献、マイクロ・フィルム、写真等の資料購入費	
調査費	アンケート調査、実験・試験、機械設計、プログラム開発等の一部または全部を外部に委託する際の経費、データ処理やシミュレーションを外部に委託する際の経費	
旅費交通費	助成研究の実施上必要な日本国内での出張（調査、会議出席）にともなう交通費、宿泊費	海外渡航費用および「7. 技術研究助成の義務」における報告のための旅費は除く
消耗品費	1点10万円未満の器具等消耗品費用 例) 一般事務用文具、分析・測定用の試薬・試料、市販のプログラムソフト、試作品制作のための部材・部品、研究用車両の燃料等	
通信費	電話、ファックス、インターネット等に要する通信費、資料等の運搬費	
印刷製本費	調査票、調査マニュアル、研究成果等の印刷費および文献・文書資料等の複写費	
謝金	共同研究者以外の研究者からの助言・協力に対する謝礼、被験者に対する謝礼	謝金の総額は原則30万円以内
借料・損料	実験・試験の機材、コンピュータ、車両等のリース費用、会議等の部屋代	
論文投稿料	学会への論文投稿費用、その他必要な費用	投稿する学会名を記入して下さい
管理費用	助成金の管理に要する事務費用	助成金の管理を大学の事務局等に委託する場合のみ計上

※ 上記の規定によるが、項目に該当しない経費等で不明の場合は NEXCO 東日本と相談すること

Ⅱ 令和4年度 NEXCO 東日本 技術研究助成の募集について

1. 実施スケジュール

- (1) 公募期間は、令和4年11月18日（金）から令和5年1月13日（金）までとします。
- (2) 助成対象の決定通知は、令和5年2月末頃の予定です。
- (3) 助成期間は、決定した翌日から令和6年2月29日（木）までです。

2. 申請手続き

- (1) 助成を希望する研究者は、所定の申請書（様式－1①②④⑤⑥）（共同研究の場合は様式－1③を追加）に必要事項を記入の上、書類とその電子データ各々一式（電子媒体はデータ追記、変更が不可能なCD・DVD類とし、データ追記、変更が可能なフラッシュメモリの類は不可）を、NEXCO東日本へ郵送により提出するものとします。公募期間中の消印有効です。申請書は日本語で作成して下さい。

なお、セキュリティ上の都合からメールによる申請書の受付は行いません。

- (2) 申し込み件数は1人（共同研究の場合は1研究グループ）あたり1件とします。
- (3) 申請書の提出先・問い合わせ先は以下のとおりとします。

〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉260 NEXCO東日本総合技術センター2F

東日本高速道路株式会社

技術本部 総合技術センター 技術企画課内「技術研究助成事務局」

TEL 048-749-0600 FAX 048-757-0057

<https://www.e-nexco.co.jp>

3. 申請書に記載された個人情報の利用目的について

申請書に記載された個人情報は、申請者への連絡、情報提供のために使用します。

ただし、取得した個人情報のうち、氏名、所属機関名及び役職名は、当事業の広報のために刊行物、報告書、ホームページ等で公表し、第三者に提供することがあります。

以上の事項に同意した上で申請していただくようお願いします。

4. 助成金交付手続き

- (1) 助成金は、助成研究者からNEXCO東日本へ請書（様式－2①②③）を提出していただいた時点で交付します。本様式のほか、大学への寄付金申込書が必要な場合はご準備下さい。
- (2) 助成金は決定通知後すみやかに助成研究者の指定する口座に振り込みますので、助成金の受け入れ方法を申請書（様式－1①）に記入して下さい。

Ⅲ 様式

1. 申請手続きに用いる様式

- 様式－1① 技術研究助成申請書
- 様式－1② 助成研究者経歴
- 様式－1③ 共同研究者経歴
- 様式－1④ 研究計画書（その1）
- 様式－1⑤ 研究計画書（その2）
- 様式－1⑥ 研究費用予定内訳書

2. 助成金交付手続きに用いる様式

- 様式－2① 請書
- 様式－2② 助成金振込先通知書
- 様式－2③ 助成研究の予定工程表

3. 成果報告に用いる様式

- 様式－3① 技術研究助成成果報告
- 様式－3② 成果報告書の要約
- 様式－4 助成金に関する決算報告書

整理番号：

様式-1①

令和 年 月 日

NEXCO 東日本 技術研究助成申請書

東日本高速道路株式会社
社長 由木 文彦 殿

申請者 氏

住所

所属

ふりがな

氏名

印

貴社の技術研究助成金を受けて、下記のテーマについて研究を実施したいので申請いたします。

記

1. 申請テーマ (いずれかに○をお願いします)

- (1) 共通テーマ : 高速道路の安全性またはサービスレベルの向上に資する研究
(2) 特定テーマ : 高速道路における DX・GX の推進に資する研究

2. 助成研究名

3. 助成金要望額 要望額 金 円

4. 助成金受入れ方法 (いずれかに○または記入をお願いします)

- (1) 奨学寄附金
(2) その他 (具体的に)

以上

整理番号：

様式－1②

助成研究者経歴

ふりがな 氏 名	印	生年月日	昭 和 平 成 年 月 日
連絡先	(〒)		Eメール： TEL： FAX：
勤務先 (所属)	学部・学科まで御記入ください。		職名
最終学歴	学部・学科まで御記入ください。		
学位等			
研究歴			
主な関連 著書・論 文・研究発 表等 (注)	(注) <u>研究課題に関連した論文(日本語) 1編を添付して下さい。なお、研究課題に関連した論文がない場合は、代表的な論文(日本語)を 1編添付して下さい。</u>		

整理番号：

様式－１③

共同研究者経歴

ふりがな 氏 名	印	生年月日	昭 和 平 成 年 月 日
連絡先	(〒 -)		Eメール： TEL： FAX：
勤務先 (所属)	学部・学科まで御記入ください。		職名
最終学歴	学部・学科まで御記入ください。		
学位等			
研究歴			
主な関連 著書・論文・研究発表等			

※共同研究者が2名以上の場合は適宜追加して下さい。

整理番号：

様式－１④

研究計画書（その１）

助成研究名	
特記事項	（本研究が大きな研究の一部、他機関の助成等を受けている場合記入ください。）
研究の 目的・意義	
研究の概要	キーワード []
研究内容 の新規性	（既往の研究の概観）

整理番号：

様式－1⑤

研究計画書（その2）

研究手順	研究のフローチャート
主な研究手段	実験、事例調査・分析、シミュレーション、数値解析など主な研究手段のキーワードを記入してください。
全体の研究期間	着手 年 月 ～ 終了 年 月
研究の今後の展開	
研究成果の活用	
他団体等からの助成受給状況	今回申請する研究が、既に他団体等から助成を受けている場合、団体名と助成金額を記入してください。

整理番号：

様式－1⑥

研究費用予定内訳書

科 目	金 額	内 訳
人件費		
資料費		
調査費		
旅費交通費		
消耗品費		
通信費		
印刷製本費		
謝 金		
借料・損料		
論文投稿料		投稿する学会名 [] []
管理費用		
合計		

(注) 実態に即して作成して下さい。

整理番号：

様式－2①

請 書

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社
社 長 由木 文彦 殿

申 請 者 〒
住 所

所 属

ふりがな
氏 名

印

令和 年 月 日付 助成番号 第 号

助成研究名 「 」

助成金額

上記の技術助成研究については、NEXCO 東日本 技術研究助成実施要綱及び申請書等に従って誠実に実施いたします。

整理番号：

様式－２②

助成金振込先通知書

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社
社長 由木 文彦 殿

所 属^{※1}
役 職
氏 名

印

助成研究名 「 」

助成研究者名

上記技術研究助成金の受入れ方法（次の1または2を○で囲んで下さい。）

1. 奨学寄附金
2. その他（具体的に ）

下記口座振込みにより、お支払い下さい。

振込銀行名			
支店名			
預金種類○印	普通預金	当座預金	その他（ ）
口座名義 ^{※2}			
ふりがな			

口座番号			

※1 助成金振込先通知書は、法人等組織の助成金振込口座を取り扱う会計責任者が行って下さい。

※2 法人等組織の助成金振込口座を記入。助成研究者の個人名の口座は不可。

整理番号：

様式－3①

NEXCO 東日本 技術研究助成成果報告

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社
社長 由木 文彦 殿

申請者 〒

住所

所属

ふりがな

氏名

印

令和 年 月 日付 助成番号 第 号

助成研究名 「 」

上記の技術助成研究は、令和 年 月 日に完了いたしましたので、下記書類を添えて報告いたします。

－ 記 －

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 成果報告書 | 1部および電子媒体1式 |
| 2. 成果報告書の要約（様式－3②） | 1部および電子媒体1式 |
| 3. 助成金に関する決算報告書（様式－4） | 1式 |

以上

整理番号：

様式-3②

成果報告書の要約

助成番号	助成研究名	研究者・所属
第 号		
キーワード		
<p>(研究目的)</p> <p>(研究手順)</p> <p>(研究成果)</p> <p>NEXCO 東日本ホームページに掲載する可能性があるため、研究目的、研究手順、研究成果など、一般の方にもわかりやすいようにして下さい。</p> <p>枚数は1～2枚程度でまとめて下さい。</p> <p>理解を助けるために、図表、写真などを貼付して下さい。</p>		

整理番号：

様式－４

助成金に関する決算報告書

助成番号 第 号	助成研究名		研究者・所属
科 目	金 額		摘 要
	計 画	実 績	
人 件 費			
資 料 費			
調 査 費			
旅費交通費			
消 耗 品 費			
通 信 費			
印刷製本費			
謝 金			
借料・損料			
論文投稿料			投稿した学会名 [] []
管理費用			
合 計			(単位：円)

令和 年 月 日

上記のとおり相違ないことを証明します。

会計責任者 所 属
役 職
氏 名

印